

せんだい3.11メモリアル交流館  
Sendai 3/11 Memorial Community Center

# 3.11 現場の事実×心の真実

大きな痛みとともに、数々の大切なことを  
私たちの中に呼び覚ますことになった  
あの日からの記憶と経験を、後世に――。

パネルの展示をご希望のみなさまへ

せんだい3.11メモリアル交流館では、設営から告知方法など、具体的なご相談を承ります。①**展示目的** ②**ご希望のパネル** ③**展示場所** ④**展示期間** などをご検討の上、電話またはメールにてどうぞお気軽にお問い合わせください。例えば「防災イベントの一企画で」、「学生に向けて学校内で」など、全国各地の団体、企業、教育機関、自治体のみなさまそれぞれの目的に応じた展示が実現できるよう、交流館スタッフがサポートします。



展示例：〈パネル展〉3.11現場の事実×心の真実

- 屋内外を問わず展示可能です
- パネルはすべて、縦型B2(728mm×515mm)サイズ、アルミフレーム入りです
- 必要に応じ、展示ワイヤーなどの備品も貸出します
- ご希望に応じ、企画展の際に上映した映像もご利用可能です



せんだい3.11メモリアル交流館  
Sendai 3/11 Memorial Community Center

せんだい3.11メモリアル交流館は、東日本大震災を知り学ぶための場であるとともに、津波により大きな被害を受けた仙台市東部沿岸地域への玄関口として、2016年2月に仙台市地下鉄東西線荒井駅舎内に開館。震災や地域の記憶を語り継いでいくための場となり、未来に向けて多様な交流を生み育てることを目指す、仙台市沿岸部の震災メモリアル施設です。



地下鉄東西線荒井駅舎内  
〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井字沓形85-4

☎ Tel / 022-390-9022  
✉ E-mail / office@sendai311-memorial.jp  
🌐 Web / https://sendai311-memorial.jp/

- 開館時間 / 10:00 - 17:00
- 休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)  
祝日の翌日(土・日曜日、祝日を除く)、年末年始、臨時休館日

## 〈パネル展〉 3.11現場の事実×心の真実



せんだい3.11メモリアル交流館では、平成30年から3年間にわたり

『3.11現場の事実×心の真実』と冠した3つの企画展を開催しました。

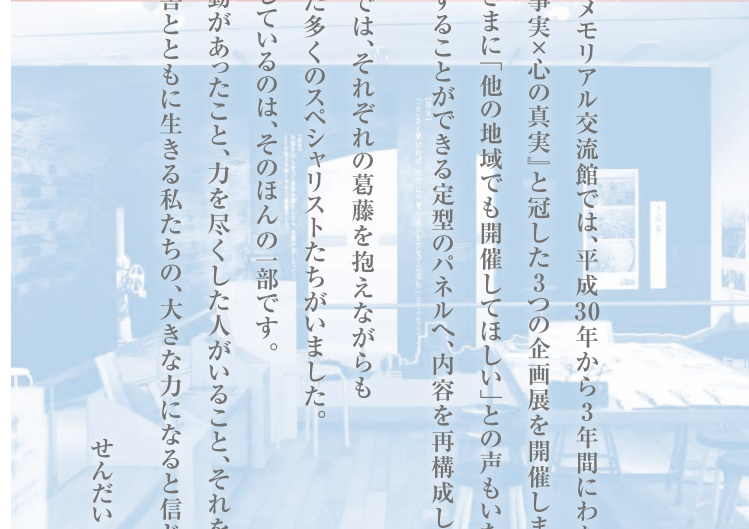
「ご来場のみなさまに「他の地域でも開催してほしい」との声もいただいたことからどこでも展示することができると定型のパネルへ、内容を再構成しました。

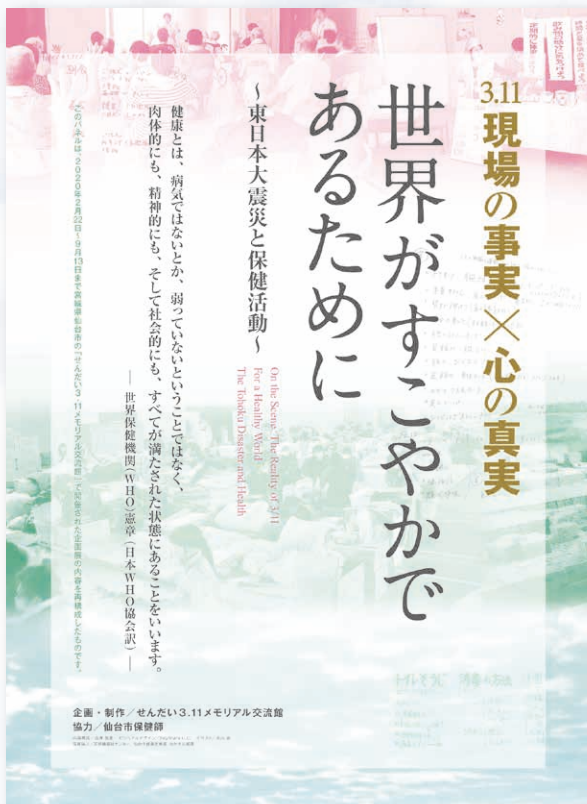
東日本大震災では、それぞれの葛藤を抱えながらも現場で奮闘した多くのスペシャリストたちがいました。

ここでご紹介しているのは、そのほんの一部です。

このような活動があったこと、力を尽くした人がいること、それを知ること、これからも災害とともに生きる私たちの、大きな力になると信じています。

せんだい3.11メモリアル交流館





### 3.11 現場の事実 × 心の真実

## 世界がすこやかであるために

～東日本大震災と保健活動～

当時、現場で奔走した専門職の一つに「保健師」があります。震災当日、避難所が開設されてすぐ、現場にその姿はありました。そして、今もお保健師による被災者支援は続いています。非常に重要な存在でありながら、あまり光が当たることがないその活動の神髄とは一。当時の記録と、9年を経て実施したアンケートやインタビューの言葉からその本質に迫ります。  
(2020年2月22日～9月13日まで交流館で企画展開催)

- パネル / 全14枚
- 映像 / 「保健師の声」15分程度

【企画協力 / 仙台市保健師】  
内容構成 / 谷津 智里 ビジュアルデザイン / SkyStars,LLC イラスト / 古山 拓  
写真協力 / 区保健福祉センター、仙台市健康政策課、仙台市広報課



### 3.11 現場の事実 × 心の真実

## それでも、下水は止められない。

～東日本大震災・南蒲生浄化センターの知られざる闘い～

仙台市沿岸部の宮城野区蒲生地区に位置する「南蒲生浄化センター」は、全国でも最大規模の下水処理施設です。津波で壊滅的な被害を受けたその日から、南蒲生浄化センターでは気の遠くなるような闘いが始まっていました。施設で40年働き続ける職員など複数のインタビューをもとに、現場を知る人の言葉、写真、イラストでそのドラマを伝えます。  
(2019年1月22日～7月7日まで交流館で企画展開催)

- パネル / 全14枚
- 映像 / 発災時の写真、映像、浄化センター職員等へのインタビュー「発災」「復旧」「海I」「海II」各15分程度

【企画協力 / 仙台市南蒲生浄化センター】  
内容構成 / 谷津 智里 ビジュアルデザイン / SkyStars,LLC イラスト / 大沢 佐智子



### 3.11 現場の事実 × 心の真実

## 消防・命のプロが見た

## 結 ～ 東日本大震災

仙台市沿岸部の広域を管轄する「仙台市消防局若林消防署」。津波被災現場の最前線に立っていた消防職員が、2011年5月から7月にかけて書いた手記を、現場の写真とともに綴ったパネルです。仙台市消防局「東日本大震災における消防の活動記録誌（平成24年発行）」より抜粋した活動記録パネルと合わせ、当時の状況を伝えます。  
(2018年2月6日～4月22日まで交流館で企画展開催)

- 手記パネル / 全12枚
- 活動記録パネル / 全12枚
- 映像 / 「若林消防職員へのインタビュー」30分程度×2本/1名 全4名

【企画協力 / 仙台市消防局若林消防署】  
ビジュアルデザイン / SkyStars,LLC